

クラス番号	615	担当教員名	岩田 正人
テーマ	社会的養護における子どもの権利擁護		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書・論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『みらい×子どもの福祉ボックス 社会的養護Ⅱ』（2019），みらい（共著） 『社会的養護の若き実践者のために「どうしようこんなとき！！2』（2017）三学出版（共著） 『児童養護施設で暮らす「発達障害」の子どもたち：理解と支援への手掛かり』（2010），福村出版（共著） 『子どもと福祉』Vol.7（2014），明石書店 <p>【研究課題】</p> <p>児童養護施設における被措置児童等虐待事案の発生要因、職員研修とマンパワー</p>		

ゼミナール概要

キーワード：児童養護施設、子どもの権利と人権、権利擁護、社会福祉援助技術、支援者支援

【目的・内容】

- ・今日の子どもを取り巻く環境の動向を理解しつつ、児童養護施設をはじめとする社会的養護領域に関する専門的知識、専門的技術、専門的態度を身に付けられることを目的とします。
- ・現状として、子どもの権利を護られ、安心、安全、安定が図られるはずの社会的養護関係施設において被措置児童等虐待（施設内虐待）が少なからず発生している状況があり、その要因はさまざまなことが考えられます。
- ・こうした中で、子ども福祉現場の実践者に求められる人権感覚や専門性をもって、即戦力として発揮できるようになるため、特に対人援助の原理原則の基本から学んでいく。
- ・また、福祉の対象とされる子どもや家族の気持ちに寄り添い、共感できる人間性が築かれていくことを目指す。
- ・今はまだ、漠然と子どもに係わる仕事や福祉職を考えている学生が本ゼミでの学びを通じて、より明確されていく内容で考えています。そのため、具体的な内容は、参加する学生の意向を勘案して組み立てていく。

【授業計画】

□3年次

- ・3年生前期では、ゼミ内でそれぞれの関心事を出し合いながら、意見交換を進めていく。また視野を広げるため、フィールドワークとして様々な子ども支援関係機関・団体への訪問・見学を予定している。リアルな福祉現場の実情を肌で感じ、理解を深めていく
- ・具体的な事例に触れ、虐待や要保護に至る経緯含む、子どもと家族の実態とケースワークの在り方を検討する。
- ・3年生後期は、前期の内容を踏まえて、それぞれの関心事をしぼっていく。

□4年次

- ・4年生前期は、卒論のテーマにそった内容に沿って、調査や執筆に向けて取り組む。
- ・ゼミ内で中間報告としてまとめ、お互いの卒論内容に触れ、意見交換を重ねていく。
- ・4年生後期では、引き続き論文の修正、添削など論文指導を行い、最終的に卒論としてまとめる。
- ・ゼミの中で卒論報告会を行う（12月中旬に別途、複数ゼミでも実施予定）。

担当教員からのメッセージ



・学びを進めていく上で、興味や関心が沸き、深めていくことが「楽しい！」と感じられることが重要ではないかと思います。そのため担当教員としては、皆さんの関心事を引き出せるように努めていきたいと思っています。また「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と疑問に感じた観点が出発点だと思っていますので、それらを大切に、掘り下げていき、「なるほど」「そういうことか！」と感じられるようにしていきたいと思っています。みんなで共に学び、共に成長していきましょう！また子どもと福祉と、学生さんの将来を一緒に考えていきましょう！